

おひさま

令和6年12月20日

<12月の満3星3・4組さん>

○一緒に遊ぼう

11月28日の自由遊びでは「一緒に遊ぼう。」と自分から声を掛けて、先生やお友だちと楽しく遊べました。成長しています。カレー給食でもほとんどの子がおかわりできました。「集まれ。」と言いながら、お皿のごはんやカレーを集めて、最後まで食べようと頑張っていました。

○お誕生会の手品

12月のお誕生会でした。ホールで大きな星組さんと一緒でしたが、落ち着いて参加していました。先生たちが手品をやると「すごーい。」「どうして。」と不思議がったり、驚いたりしていました。そのあとは満3クラスのお友だちだけで、芝生広場で遊びました。手をつないでお山を登ったり下りたり、縄跳びを用意すると電車ごっこが始まりました。

○だるまさん

作品展の紙粘土制作は、みんなが大好きな「だるまさんが」のお話のだるまさんを作ります。お話の中から「にこっのだるまさんにする。」「びろーんのだるまさんにする。」「どてのだるまさんにする。」とそれぞれ選んで作り始めました。「目はどこにしよう。」「口はにっこりにしよう。」と自分で考えながら目や口も付けました。出来上がっただるまさんを見て、満足の子どもたちでした。

<12月の年少星組さん>

○クリスマスかざり

年少さんはリースを作ることにしました。教師が「リース」と言うと「幼稚園の玄関に飾ってあるのと同じだね。」と言っていました。折り紙のチューリップを10こ折って作ります。2こめまでは「どうやるの?」と質問する子が何人かいましたが、徐々に折り方を覚え、自分で折れるようになりました。リースをひもにつるして飾ると、自分のリースを探したり、クリスマスの歌を口ずさんだりしていました。大喜びの子どもたちでした。

○紙粘土の作品づくり

紙粘土に絵の具を流していくと「うわー。」と声を出してちょっと驚いていた子どもたちですが、一度絵の具が手についてしまうと「気持ちいい。」「楽しい。」と楽しんでいる様子でした。終わった子から手伝いもしてくれ、片付けもしっかりできました。次の日、紙粘土でガチャガチャボールをくるみ、顔のパーツを付けていきました。「眉毛はつける。」「ほっぺは赤。」「にこにこのお口。」「まんまるの目」等、自分でイメージして作っていきました。子どもたちなりに満足いくものができました。

<12月の年中花組さん>

○羽子板

1月のお部屋に飾る「羽子板」の絵を作りました。「羽子板」はどんなものか知らない子が多く「干支」も知らなかったです。「12支のおなし」の絵本を読み、子どもたちに知らせていきました。「たつの次はへびなんだ。」と口々に言っていました。羽子板には、富士山や日の出、へびの飾りをつけていきました。「へびに水玉描こう。」「しましまへびだよ。」と仕上げにへびに好きな模様を描いたり、金やキラキラの飾りをつけたりしていきました。羽根を付けると、本物の羽子板のようになりました。羽つきのまねをしている子どもたちもいました。よい作品ができました。また、1月の教室を覗いてください。

○ブロックのブロッピちゃん

お誕生会の手品の時、目玉が付いたブロックにブロッピちゃんと名前を付けて、手のひらにのせて、なでなでしたり、ブロッピちゃんがお話ししたりするようにしました。ブロッピちゃんが他の先生の所に瞬間移動したり、3つのコップのどこかに隠れたりして、それを当てるという手品でした。子どもたちはブロッピちゃんが本当に生きているように感じたようで、大人気になりました。「なでなでしたい。」「さわりたい。」と言うので、帰りに1人1回、ブロッピちゃんをなでなでして帰りました。かわいらしかったです。

<12月の年長雪組さん>

○クリスマス会

雪組さんはクリスマス会でサンタさんにいろいろ質問しました。最初の質問は「おもちゃはどうやって作っているのですか？」次の質問は「どうして空が飛べるのですか？」3つ目の質問は「煙突がなかったり、ドアに鍵がかかっていたりするときは、どうやって家に入るのですか？」最後の質問は「サンタさんは、ふだんは、何をしているのですか？」でした。幼稚園の園児全体の前で堂々と質問することができました。とても立派でした。サンタさんがそれぞれの質問にしっかり答えてくれました。サンタさんの答えの後には「ありがとうございました。」としっかりお礼も言えた年長さんでした。

○聴覚特別支援学校幼稚部に行ったよ

園バスにのって、聴覚特別支援学校にみんなで行きました。支援学校の体育館はとても広くてはじめは緊張している様子でした。上島幼稚園の紹介をする代表のお友だちも大きな声でしっかり言うことができ、自信がついたようでした。ジャンケン列車では、支援学校幼稚部年少のお友だちと列車になるとき、ひざを曲げて少し小さくなったり、玉入れでは幼稚部のお友だちに玉を渡してあげたりと関わりを持ち交流する姿が見られました。お家で手話を覚えてきたお友だちもいて感心しました。お別れはみんなタッチをして帰ってきました。短い時間ですが、充実した楽しい時間が過ごせました。顔を見て、ゆっくりはつきりお話すれば、お話が通じるね。すごいね。